

科目名	キャリアデザイン 2								年度	2024
英語科目名	Career Design 2								学期	後期
学科・学年	I T スペシャリスト科 1 年次		必	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	降矢理人			教員の実務経験		有	実務経験の職種		クリニカルエンジニア	
【科目の目的】 専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。専門分野の知識やスキルに長けていることはもちろんだが、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では働く意味や意義について思考を重ね、学生と社会人との違いを認識するとともに社会人になるための道筋、つまり就職へ向けてのアプローチとなる第 1 歩を踏み出すことが目的である。（1 年次共通）										
【科目の概要】 キャリア教育学② 日本の実状や今後の仕事や業界についてデータや情報を提供する コミュニケーション学を理論として学び、人との関わり方について自分と向かい合う機会にする 自己分析手法の 1 つである「エゴグラム」を通し、自分を知る機会にする										
【到達目標】 本来キャリア教育は、単に就職するためのスキルを教授するだけではなく、社会人としての考え方や社会論を軸に、労働との関わりについて思考を深める学問である。自身と向かい合い将来の働き方を模索し、自分なりの生き方や働き方、さらには社会との関係性について視点を増やし、視野を広げることを目標とする。										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は原則認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は評価しない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている			レベル 2 ふつう			レベル 1 要努力			
到達目標	将来に向けた具体的なビジョンがあり、自ら取り組み始めている			具体的な将来のビジョンこそないが、目先の学業や生活に興味を持って取り組められる			これからの学業や生活について。これまでの考え方を振り返りながら今後のことを考え始められる			
【教科書】 無し／オリジナルの投影資料										
【参考資料】 必要に応じてその都度トピックスの話題や資料										
【成績の評価方法・評価基準】 課題レポート 60％出席 30％平常点（発言等） 10％										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		キャリアデザイン2				年度	2024
英語表記		Career Design 2				学期	後期
回次	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価	自己
1	所得を得るということ (1)	サラリーマンの実状を知る	1	初任給	賃金データから見た日本の実状を知る		
			2	所得	勤労所得と不労所得		
2	所得を得るということ (2)	売上を出せる人を考える	1	賃金と売上	「売上を出せる人」を考える		
3	所得を得るということ (3)	年金制度を知る	1	年金制度	年金制度を知る		
4	世界は誰かの仕事でできている (1)	成長業界を考える①	1	動画視聴			
			2	業界を知る	今後どんな仕事や業界が伸びるか考える		
5	世界は誰かの仕事でできている (2)	成長業界を考える②	1	ブレインストーミング	グループワークに取り組む		
6	世界は誰かの仕事でできている (2)	これからの働き方を考える	1	動画視聴			
			2	外部環境	外部環境変化について考察する		
7	対人コミュニケーション (1)	コミュニケーション学の概要	1	コミュニケーション学	コミュニケーション学理論について知る		
8	対人コミュニケーション (2)	自己理解	1	相互理解プロセス	自己について考えてみる		
9	対人コミュニケーション (3)	他者理解	1	相互理解プロセス	積極的傾聴の重要性を知る		
10	対人コミュニケーション (4)	柔軟な自己表現と相互理解	1	相互理解プロセス	関係を深めるマインドを持つ		
11	対人コミュニケーション (5)	交流分析①	1	交流分析の目的	交流分析の基本的考え方を学ぶ		
			2	エゴグラム	自分のエゴグラムに取り組む		
12	対人コミュニケーション (6)	交流分析②	1	エゴグラム	自分のエゴグラムを考察する		
13	対人コミュニケーション (7)	交流分析③	1	エゴグラム	自分のエゴグラムを考察する		
14	対人コミュニケーション (8)	交流分析④	1	異文化コミュニケーション	自分と人を大事に想う		
			2	動画視聴	自分の中の主体性について再考する		
15	特別講義	業界人や有識者を招いて	1	講話	社会人意識や今後の専攻について考える機会にする		

評価方法：1. 課題、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等